



コンサートレポート

アンサンブル・ニーかつしか

4/23

去る4月23日（土）午後かつしかの定演に伺つた。

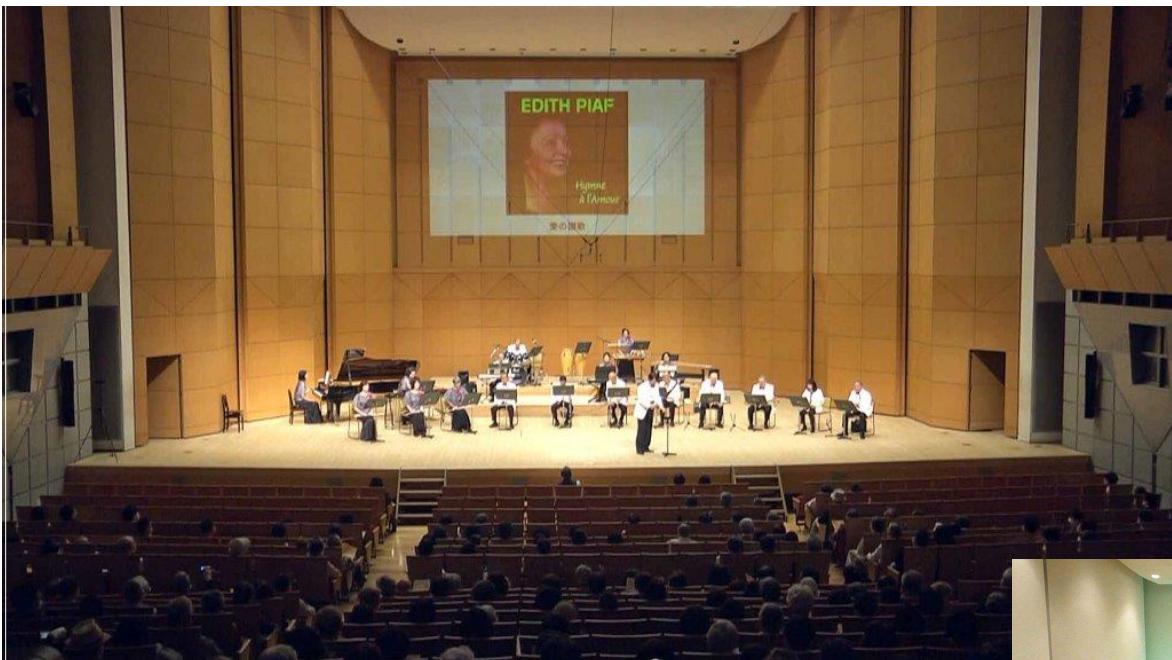
4、5月は全国大会の練習で忙しく、多くの楽団から定演へのお誘いを頂いたが、ティアラE江東で指導願っている五十嵐淳先生からの半年前からのお説いと、当日は幸い予定が空いていたので出かけた。

当団は平成2年に発足して32年、全国大会は第10回のかつしか大会を主催した他、最近は続けて出場している。コロナ禍で弦楽器の団員が退団し、今回は管、打、鍵盤楽器の団員での出演となつた。

第1部はクラッシックからシャンソンまで名曲を7曲「フィンランディア」を弦などでどんな演奏になるか興味深かつたが、五十嵐先生の編曲により感動的に演奏したのはさすがである。そして、「アフリカンシンフォニー」では団歴30年以上でかなり年配になられた飯田さんの叩くコンガのリズム、が若々しく情熱的で感動した。音楽は本当に若さを与えてくれるものである。

第2部は寅さんの「男はつらいよ」「マツケンサンバⅡ」など本格的なコスチュームで指導の五十嵐先生のパフォーマンスが素晴らしく演奏効果抜群で楽しかった。古川さんのマリンバによるミスター・ロンリーなどは期待通りで会場を魅了した。この団は団歴が長い割にはステージが若々しく「今こそ青春」をとり戻してくれる。

五十嵐先生の記憶力抜群の語りとパフォーマンスも大きい。お客様もそれを期待して会場はいつも満杯である。演奏会はよい響きを伝えることは重要だが、お客様を如何に楽しませることも重要なことを改めて痛感した。（全シ連　岡村）



定期演奏会を終えて　穴倉和夫

4/27

2022年4月27日（水）ようやく第5回定期演奏会を行うことができた。コロナ禍がなければ1年半前の秋土曜日に行われる予定であった。場所は船橋文化ホール、今回実施するまでに何回予約↓取り消し↓予約に足を運んだことか！今回広報活動は前回までの方法をかなり絞りコロナ対策とする、船橋市公報にも載せず、船橋市の公民館にもチラシを配らず団員の親戚や友人にもかなり「お説い」を自粛。その結果観客数は350人、前回までほぼ千人でしたが。今までのお客さんからもらえる拍手は・・・。

我が団も創立12年、最初の創立に貢献してくれた人はすべて退団し、今回デビューした人はヴァイオリンは2人、ドラム、ギター、クラリネット、ベースは1人計6人でした。それにともない平均年齢も下がりました。

さて私たちがこうやって舞台に立つて演奏し、お客様に笑顔が届けられるのは、まず12年前に全国シニアアンサンブル会長さんが船橋に来て「演奏したい人、この指止まれ」と発足に尽力していただきました、この人なくして今の演奏会はありません、それから技術的にもそれから団の運営にも豊富な経験からアドバイスしていただいた脇田先生（指揮者）そして演奏を盛り上げてくれた司会者、照明、音響、ステージマネージメントのスタッフの皆さん、それからお客様のホールへの入場を円滑に行ってくれた、我孫子の牧野さん、をはじめ千葉SE、市川SEのシニアアンサンブルのお手伝いに来ていただいた方々。舞台設定をしていただいたホールの方々、守衛の皆さん、いろいろな方に支えられて演奏会ができたこと深く感謝します。

ありがとうございました。

船橋シニアアンサンブル